

みずほCustomer Desk Report 2017/07/06 号(As of 2017/07/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBR/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.98	1.1359	128.34	0.9643	1.2934	0.7611
SYD-NY High	113.69	1.1368	129.08	0.9687	1.2948	0.7632
SYD-NY Low	112.83	1.1313	128.18	0.9635	1.2894	0.7570
NY 5:00 PM	113.26	1.1351	128.56	0.9640	1.2931	0.7603
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.335/8.72		△25RR	0.890	Yen Call Over	
NY DOW	21,478.17	▲ 1.10	債券市場	日本2年債	-0.1050	1.9bp
NASDAQ	6,150.86	40.79		日本10年債	0.0920	1.1bp
S&P	2,432.54	3.53		米国2年債	1.4022	▲0.8bp
日経平均	20,081.63	49.28		米国5年債	1.9134	▲1.8bp
TOPIX	1,618.63	8.93		米国10年債	2.3232	▲2.7bp
シカゴ日経先物	20,100.00	▲80.00		独10年債	0.4700	▲0.5bp
ロンドンFT	7,367.60	10.37	為替市況	英10年債	1.2600	1.3bp
DAX	12,453.68	16.55		豪10年債	2.6300	0.8bp
ハンセン指数	25,521.97	132.96		USD/CNH	6.8001	▲0.0060
上海総合	3,207.13	24.33	商品市況	ドルインデックス	96.29	0.07
USDJPY 3M Vol	8.72	0.23%		CRB指数	173.653	▲2.50
USDJPY 6M Vol	8.96	0.22%		NY金	1,221.70	2.50
EURJPY 3M Vol	9.12	0.31%		WTI	45.13	▲1.94
EURJPY 6M Vol	9.47	0.18%		Dubai Spot	47.85	▲0.41

東京	オセアニア時間序盤は113.20-30を中心とした値動きで推移。その後、北朝鮮から「4日のICBM発射で弾頭の大気圏再突入に成功」と発表され、フィラ・ツミ国務長官から「北朝鮮によるICBM発射は同国による核の脅威の新たな高まりを示す」とのコメントが報じられると、113.10近辺まで下落。更に北朝鮮による6回目の核実験の可能性を指摘する声が出るほか、米韓両軍が韓国沖で北朝鮮を威嚇するためにミサイルを数発発射したと発表され、ドル円はじりじりと下落し112.90をつけた。斯かる状況下、ドル円は112.98レベルで東京時間オープン。オープン直後は113.00を挟んでレンジ推移していたものの、北朝鮮を巡る地政学リスクが警戒され日経平均株価が一時19,800円台まで下落すると、ドル円は安値112.83をつける。但し一段と下落するには至らず、午後に入ると寧ろ朝方の下落を取り戻す動きとなり、113円台を回復。海外時間に発表されるFOMC6月会合議事要旨に市場の注目が移る中、113円台前半でレンジ推移した後、113.27レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	欧州時間のドル円は113円半ばから後半まで上昇する展開となった。朝方は113.27レベルでオープン。北朝鮮によるICBM発射を受け、米国が国連安全保障理事会で緊急非公開会合を開くよう要請したとの報道が材料視され、ドル円は113円台半ばまで上昇。欧州株が寄り付きから堅調となったこともあり、ロンドンでも底堅く推移し、ドル円は高値113.69まで上昇。その後は113円台半ばでもみ合いとなり、113.50レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.29ちょうど近辺から前半にかけてもみ合い、朝方は1.2917レベルでオープン。一時的にロンドン時間高値1.2937レベルまで上昇したもののその後すぐ下落。発表された英6月サービス業PMIが53.4と市場予想を0.1ポイント下回る結果となり、企業の景気見通しも約1年ぶりの水準に悪化し、ポンドの上値を抑える結果となった。その後は、ドル円上昇に見られるようにドル買戻しの流れとなったこともポンドドルの重石となり、1.2894の安値まで下落。結局、1.2919レベルでNYへ渡った。(ロンドン・ロブリ - 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	ドル円は113.50レベルでNYオープン。朝方は「OIA関係者が原油減産幅の拡大に慎重な姿勢を示した」との報道を受けてWTI原油が大幅に下落したことや、米金利の下落を受けてドル円は113.08まで下落。しかし113.00手前では下げ渋り、その後は113.20付近でのレンジ推移が続いた。午後2時に公開されたFOMC6月会合の議事要旨では「ハランシート縮小の開始時期で意見分かれる」とのヘッドラインを受けてドル円は一時112.95まで下落。但し、現段階では明確なタイムラインが示されなかったこともあり、米金利が上昇したことから113.53まで上昇。その後はダウが横ばい推移となり、米金利も低下したことからドル円は113.14まで再び下落し、結局113.26レベルでクローズした。尚、「日米外相・北朝鮮の挑発は容認できず、圧力引き上げの必要性を確認」との報道が伝わったが、市場の反応は限定的となった。一方ユーロドルは下値を試す動きにロンドン時間に1.1313まで下落するが、1.13台を割り込むにはいたらず、1.1330でNYオープン。1.13台前半では底堅く、その後のユーロドルは新規材料に欠け、中、米金利低下を受けてじり高推移となり、1.1351レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月5日	10:45	中 Caixin PMI(コンボジット/サービス業)	6月 51.1/51.6	-/-
	16:55	独 マークイット PMI(コンボジット/サービス業)・確報	6月 56.4/54.0	56.1/53.7
	17:00	欧 マークイット PMI(コンボジット/サービス業)・確報	6月 56.3/55.4	55.7/54.7
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	5月 0.4%/2.6%	0.4%/2.3%
	23:00	米 製造業受注指数	5月 -0.8%	-0.5%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	5月 -0.8%	-0.8%
	23:00	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・確報	5月 0.3%	-
7月6日	3:00	米 FOMC議事要旨	-	-

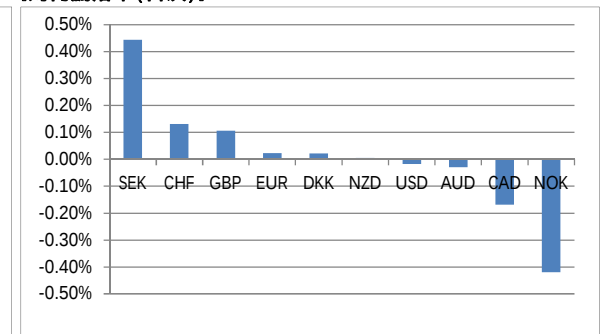
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月6日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 貿易収支	5月 A\$1,000M	A\$555M
	20:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	-6.2%
	21:15	米 ADP雇用統計	6月 185K	253K
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	243K
	21:30	米 貿易収支	5月 -\$46.3B	-\$47.6B
	22:45	米 マークイット PMI(コンボジット/サービス業)・確報	6月 -/53.0	53.0/53.0
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	6月 56.5	56.9
	23:00	米 パウエルFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.80-113.80	1.1300-1.1400	128.00-129.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は上下はしたものの、結局はレンジ内での推移に留まった。公表されたFOMC議事要旨でも決定打となる材料はなく、市場の反応は限定的だった。本日はアジア時間には特段の材料はなく、方向感に乏しい展開になりそう。米国では6月ADP雇用統計や6月ISM非製造業景況指数が発表となるため、この結果を受けて上下はしそうだ。しかし、本命は明日の米6月雇用統計だろうから、基本的には方向感の乏しい展開になると予想する。